

## 第3章 エコ通勤実施企業における活動実態把握

### 3-1 企業インタビュー調査項目

#### エコ通勤実施企業

ヤマハ発動機(株)にて実施されている「エコ通勤」について、エコ通勤制度を導入するに至った経緯や実施状況等について、企業担当者にインタビュー調査を行い、実施状況を把握した。

表3-1 企業インタビュー調査項目

<p>&lt; エコ通勤に係る基礎情報 &gt;</p> <p>Q 事業所別の従業員数（雇用形態別、年齢階層別 等）</p> <p>Q 従業員の居住地（居住地域、社宅・寮の規模・位置 等）</p> <p>Q 勤務形態（始業・終業時刻、夜間・深夜操業有無、操業カレンダー 等）</p> <p>Q 公共交通サービス状況（路線バス、送迎バスの運行区間、本数）</p> <p>Q 自動車通勤環境（許可範囲、通勤手当、自動車通勤者数、駐車場台数、二輪車用駐車場台数 等）</p> <p>Q 自動車通勤による弊害の状況（駐車場不足、道路交通渋滞 等）</p>
<p>&lt; エコ通勤制度の導入に至った経緯 &gt;</p> <p>Q エコ通勤制度の導入の背景は？</p> <p>Q ヤマハ発動機(株)の企業理念とは整合しますか？</p> <p>Q 制度は、ヤマハ発動機(株)独自のアイデアですか？参考となる先行企業などがありましたか？</p> <p>Q エコ通勤制度の導入準備の態勢は？ （プロジェクト体制、準備期間等）</p> <p>Q エコ通勤制度導入の成功要因は？ （トップマネジメント、リーダーシップの存在、従業員啓蒙プログラム、各種インセンティブ等）</p>
<p>&lt; エコ通勤の実施状況 &gt;</p> <p>Q エコ通勤の参加者の開始当初から現在までの状況は？</p> <p>Q エコ通勤進捗状況の把握方法は？</p> <p>Q エコ通勤参加率の目標は？</p> <p>Q エコ通勤への参加要請の方法は？</p> <p>Q エコ通勤のメニューの概要は？</p> <p>Q エコ通勤の内訳は（現状）？</p>
<p>&lt; エコ通勤の効果 &gt;</p> <p>Q エコ通勤の目標となる自動車通勤台数の減少は？</p> <p>Q 二輪車等の通勤台数の増加は？</p> <p>Q 企業としてのメリットは？</p> <p>Q 企業としてのデメリットは？</p>
<p>&lt; エコ通勤の課題 &gt;</p> <p>Q エコ通勤参加者からの要望は？</p> <p>Q 今後の課題は？</p>
<p>&lt; エコ通勤の拡大 &gt;</p> <p>Q 今後の展開方向は？</p> <p>Q メニューの見直しは？</p> <p>Q 公共への期待は？ （公共バスの増便、企業バス運用費補填、P&amp;R 用駐車場設置、MM 情報の提供など）</p> <p>Q 後続の企業に対するアドバイスは？ （トップ判断、社内合意等）</p>

### 3 - 2 企業インタビュー調査結果

#### (1) エコ通勤制度の内容

表3 - 2 エコ通勤制度の内容

1. 二輪車購入補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二輪車購入 15%キャッシュバック制度</li> <li>・パッソル(電動原付)・パス(電動自転車)購入 20%キャッシュバック制度</li> </ul>
2. レンタルパッソル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッソル(電動原付)の低料金でのレンタル制度</li> </ul>
3. ライディング講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料安全講習会への参加</li> <li>・2輪免許取得追加技能無料サービス</li> <li>・リターンライダースクール受講無料</li> </ul>
4. 徒歩・自転車手当支給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線距離 2km 以上の徒歩・自転車通勤者への 1,000 円 / 月手当て</li> </ul>
5. 乗り継ぎ手当て支給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最寄駅まで実走行距離 2km 以上の通勤者 2,000 円 / 月手当て</li> </ul>
6. 通勤バス増便	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマハ発動機(株)本社 = JR 磐田駅間の企業通勤バスの増便</li> </ul>

ヤマハ発動機(株)のエコ通勤制度は主に 6 種類のメニューにより構成されている。この中でヤマハ発動機(株)としては、1. 二輪車購入補助、2. レンタルパッソル、3. ライディング講習会等の二輪交通によるエコ通勤を特に強く推進している。





マイカー通勤  
からエコ通勤へ

エコ通勤にしたのはきっかけに過ぎない。  
ただ：通勤方法を変えただけなのに  
自分がちよっと格好良くなった気がする。

いつも運転席から傍らを走り去る姿を  
横目で見ては、バイクへの憧れを思い出して  
「バイクって格好いいなあ」  
風を全身で感じて、ライディングを楽しむ



空や木々を眺め、季節を感じたり  
新しいお店を見つけたり  
車で通勤している時は気がつかなかった  
発見がいっぱいある。



ウォーキング(徒歩)で通勤するようになって  
ふと気がついた。  
「空気がおいしい...?」  
自分の体調が良くなっただけじゃなく  
地球も健康にしているのかな  
なんてね...。



## エコ通勤がいろいろな事を 変えてくれる。

ヤマハ発動機は、開発・製品・製造、調達、流通、エコライフの  
5つの分科会を設け、環境への取組みを進めています。  
今回は、エコライフ分科会より、通勤時のCO<sub>2</sub>削減を目的とした  
「エコ通勤」をご提案しました。  
皆様のご理解とご協力をお願いします。



eco .1

## エコ通勤とは？

エコ通勤とは、いままでのマイカー通勤にかわりバイク・自転車・ウォーキング・公共交通機関を使って通勤することです。マイカー通勤中に排出されるCO<sub>2</sub>を減らすことにより、地球温暖化を防止することからエコ通勤と名付けました。



## eco LIFE エコ通勤を始めてみませんか？

「バイクに乗ってみたい」「日頃の運動不足を解消したい」「渋滞にストレスを感じる」「新しいことを始めたい」「本が読みたい」そんな理由がちょうどいいのです。毎日のマイカー通勤をバイク・自転車・ウォーキング・公共交通機関に変更して、通勤時間を自分のリラックスタイムにしませんか？

その通勤時間がCO<sub>2</sub>の排出を減らし、地球温暖化防止につながってしまうのです。それがエコ通勤なんて素敵でしょ。いつもと違う通勤路からは、新しい風景だけでなく、自分にも新しい発見があるかもしれませんね。

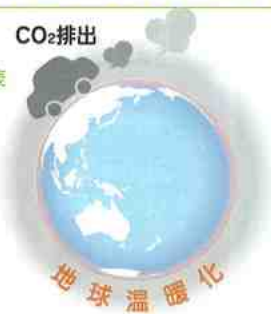
## eco LIFE 私たちの日常生活のCO<sub>2</sub>排出量をシミュレーションしました。

[ヤマハ社員]日常生活(1世帯)のCO<sub>2</sub>発生実態  
CO<sub>2</sub>の25%がマイカー通勤で発生



### eco 豆知識

二酸化炭素等の温室効果ガスの濃度が増加し、地表面の温度が上昇することを地球温暖化と言います。排出抑制・吸収源強化、あるいは技術進歩が無ければ、温室効果ガスは増加し続け、21世紀末までに地球全体の平均気温が1~3.5℃、海水面が15~95cm上昇するとされ、気候、生態系等に多大な影響を及ぼすと予想されます。



[ヤマハ社員]通勤時のマイカー使用  
15%が通勤方法を変えた場合

CO<sub>2</sub>排出量を



杉の木の年間  
吸収量  
33,000本に相当



YMC製造部門の  
CO<sub>2</sub>排出量  
11,920t(2003年度)の約1%に相当



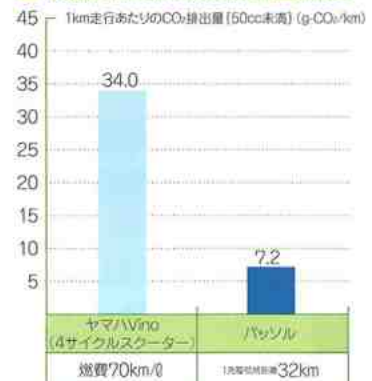
## eco LIFE CO<sub>2</sub>排出量の比較

### 自動車とスクーターのCO<sub>2</sub>排出量比較



◆CO<sub>2</sub>排出量: 10・15モード(自動車)、30km/h定地走行(スクーター)の燃費にCO<sub>2</sub>係数(2.36)を計算した値  
◆自動車: T社2000ccセダン/ガソリン4AT 10・15モード燃費(km/L)16.4  
◆スクーター: ヤマハVino(classic)50cc/ガソリン 30km/h定地走行(km/L)70.0

### 2輪走行時のCO<sub>2</sub>排出量比較



注: 購入電力を使用する場合、走行中に自らがCO<sub>2</sub>を排出するものではありませんが、ガソリンと同様に走行時に排出するものと置き換えて計算しています。



あなたがエコ通勤を始めると... このようなサポートが受けられます。



### ECO LIFE 2 輪車購入 (通勤方法申請書を提出)

#### エコ通勤のために購入した場合

2 輪車購入

通常の社員割引10% + エコ通勤の割引5% = 15%キャッシュバック  
通勤を条件にしております。



パソコン・パス購入

通常の社員割引10% + エコ通勤の割引10% = 20%キャッシュバック  
通勤を条件にしております。

エコ通勤割引期間

2004年  
12~5月  
(6ヶ月)

条件 すべての通勤目的の2 輪車購入に適用。

例 4 輪通勤 → 2 輪通勤

2 輪通勤 → 2 輪通勤も可能です。

※必ず通勤方法申請書を提出して下さい。※出向者の方も対象になります。

※購入証明(車検証・領収書など)を提示していただきます。



### ECO LIFE レンタルパソコン (休日も使用可能)

#### エコ通勤にお似合いのパソコン。

排ガス、CO<sub>2</sub>ゼロで環境に優しい  
通勤に、とても手軽なレンタルパソコンです



¥3,150/月 (消費税込) でレンタルできる

対象者 4輪・2輪通勤者かつ、通勤距離片道2~10km以内(自宅~本社周走行距離)  
※静岡県西部地区限定  
(ワイエスショップ貸出窓口及び指定のMC販売店で車両借受可能な方)

レンタル期間 最低3ヶ月間レンタルしていただきます。  
その後は1ヶ月前の解約申請により、返却できます。  
※返却終了後車両購入も可能です。

使用内容 期間中の通勤、他、休日利用も可能です

通勤手当 支給対象

※必ず通勤方法申請書を提出して下さい。  
※利用者は任意保険に加入していただきます。  
※安全講習(座学約1時間)をご案内します。

利用者募集

2004年  
12月~

利用開始  
2005年3月~(予定)





もう一度  
基本から

その3



CO LIFE ライディング講習で安全な通勤を

2 輪免許取得

ヤマハテクニカルセンターの  
追加技能教習「無料サービス」

通常の技能教習で基本教習時限を超えた時  
追加基本料金 **¥4,725/1時限当り**(消費税込)  
通常、こちらの追加基本料金を納めていた  
だところ、エコ通勤届出者は「**無料**」  
になります。

- 受講場所:ヤマハテクニカルセンター
- 対 象: '04.12月~'05.2月にエコ通勤  
の届出をされた方

「リターンライダーズクール」への  
受講無料

募集人数  
初回20名

リターンライダーとは、2 輪免許を取得し、  
しばらく運転にブランクがあった方のため  
のスクールです。その「リターンライダー  
スクール」の受講もエコ通勤届出者は  
「**受講無料**」になります。

- 受講場所:ヤマハテクニカルセンター
- 日 程:2月12日(土)PM1:00~5:00
- \*ご自分の2輪車をお持ちの方は、ご持参  
ください。2輪車の貸し出しも行います。

受講無料  
安全講習会への参加

2 輪車の運転技術向上と道路交通  
を習得する初心者向けの講習会です。  
平日の業務終了後、約1時間の座学・  
ビデオによる講習を行います。  
ヤマハテクニカルセンターがサポ  
ートします。

- 受講場所:コミュニケーションプラザ  
または指定場所



体力  
アップ!!

その4



●徒歩(ウォーキング)・自転車手当支給

2005年  
1月~

徒歩(ウォーキング)  
自転車通勤の方

**¥1,000/月**

条 件 直線距離 2km以上



ニッコ

その5



●乗継通勤手当支給  
(パークアンドライド)

2005年  
1月~

最寄駅までの  
(自宅側・会社側)  
実走行距離2km以上の通勤者

**¥2,000/月**



※通勤バス・公共交通機関(電車・バス)

(例)このような方に適用されます。



支給額 = **¥2,000** + 定期代 + **¥2,000**

ゆったり  
座れる

その6



●通勤バス増便 (本社 - JR 磐田駅間) 等



2005年  
1月~

本社 ↔ JR 磐田駅間の  
通勤バスが増便されます。

●通勤バス増便時刻  
PM8:20

※詳細は別途ご案内します。  
※乗車10名未満の路線は、見直しの対象とし、  
可能な場合は運行を中止します。



## 🔄 エコ通勤 Q & A まだまだ、よくわからない「エコ通勤」。エコ通勤に対する質問事項を集めてみました。

### Q.1 4輪・2輪併用でもエコ通勤のキャッシュバックを申請できますか？

**A.1** できます。従業員販売申請書に、対象期間(12~5月)日付の領収書を添付してYMMS人事業務室に提出して下さい。ただし条件として、購入した2輪車を通勤方法申請書で通勤車両として同時に申請して下さい。

### Q.2 自転車から2輪に通勤を変える予定ですが、この場合もキャッシュバックの対象になるのでしょうか？

**A.2** 対象になります。厳密にはCO<sub>2</sub>が増えることとなりますが、距離が少し遠くなった場合や、ご本人の体力によっては、2輪を通勤の足に使うことは、4輪に比べればまだ効率的と判断します。

### Q.3 レンタルパツソルの利用費用とその後の利用はどのようになりますか？

**A.3** 1か月3,150円を給与天引きします。日割り計算ではなく、月の途中からの利用でも月割りとなります。最短3か月のレンタル期間とし、途中解約はできません。その後は、1か月前までに返却申し出が無いと自動更新され、最長3年です。途中でこのパツソルの購入を希望する場合は、ワイエスの担当窓口にお問い合わせ下さい。残存価格をベースにご購入が可能です。

### Q.4 レンタルパツソルを利用して修理や部品交換が発生した場合の負担は？

**A.4** 定期的な交換を必要とする部品は、会社の負担になります。ご自身の管理、運転が原因で発生した修理・部品交換に関する費用は利用者ご自身の負担になります。

### Q.5 リターンライダースクールには家族も申し込めますか？

**A.5** ご家族の方は受講無料とはなりません。テクニカルセンターでは一般の方を対象に他の日程でも開催しています。ぜひそちらの機会をご利用下さい。受講料は7,000~8,000円です。

### Q.6 最寄駅まで歩く場合、乗継通勤手当は支給されますか？

**A.6** 支給されません。乗継通勤手当2,000円は、駐輪場・駐車場代を含め金額設定としているためです。ただし、自転車等を利用する場合で実走行距離が2km以上であれば、駐輪場・駐車場代がいくらであるかにかかわらず定額を支給します。

### Q.7 公共交通機関の前後で2台の自転車を使って通勤しています。乗継通勤手当はどうなりますか？

**A.7** それぞれ実走行距離が2km以上であれば対象となり、定期券代他に2,000円×2=4,000円が支給されます。支給される例としては、4輪(実走行距離が2km以上)+JR+自転車(実走行距離が2km以上)というケースもありえます。

## 🔄 エコ通勤体験談

### 2輪で通勤 「エコ通勤」はエコミー通勤



**Profile**  
Nさん  
エルムデザイン

●エコ通勤を始めた理由  
通勤距離が遠くなり、通勤時間を短縮したかった。

●以前の通勤→エコ通勤  
自動車 2輪  
(1時間10分) → (30~40分)

●エコ通勤に変更して  
毎日の渋滞のイライラが無くなり、通勤時間が約30分も短くなりました。天気の良い日に爽快な気分が味わえるのも2輪通勤ならではの良さ。冬場の通勤も、しっかりとしたウエアを着れば、まったく寒くありませんから、想像していた2輪車通勤よりもずっと快適です。自分自身も、ちよつと格好良くなった気になってます(笑)。また、我が家のガソリン代が、自動車通勤と比べて1/3くらいになったのも随分良かった。通勤使用を外したマイカーの任意保険は割安にもなりますよ。エコロジー通勤は、エコミー通勤でもあるんですね。

### 電車で通勤 「エコ通勤」は勉強時間



**Profile**  
Tさん  
環境推進グループ

●エコ通勤を始めた理由  
通勤時間が長かったため、通勤時間を他のことに利用したいと考えた。

●以前の通勤→エコ通勤  
自動車 → 自宅から自転車→電車→バス  
(1時間20分) (1時間25分)

●エコ通勤に変更して  
一日の内で自分が自由に使える時間はそんなにありません。片道1時間20分の通勤時間を有効に利用できれば、色々なことができると思えました。車通勤は慢性的な渋滞で運転によるストレスもたまり、その時間は運転に費やされることとなります。そこで「エコ通勤」に変更すればCO<sub>2</sub>削減に貢献し、かつ自由な時間が持てるということになります。以前はその時間に資格取得のため勉強したりしましたが、現在はいろいろな分野の本を読んだりして、違った世界に入り込んでリラックスしながら通勤を楽しんでいます。

### バスで通勤 「エコ通勤」はリラックスタイム



**Profile**  
Oさん  
宣伝・CRMグループ

●エコ通勤を始めた理由  
自然や季節を感じて、気分をリフレッシュ。

●エコ通勤→エコ通勤  
自転車 バス  
(15分) → (15分)

●エコ通勤をつづけて  
私の自宅は、会社まで2kmほどの近距離ですから、もともと自転車通勤をしていました。でも通勤路には必ず坂道があり、4年前にバスを購入しました。それから、雨の日も風の日も、毎日バスで通勤しています。朝、家族全員を送り出し、あわただしく家事を済ませてから自宅を出ます。だから自分だけの時間は、ゆっくりと走るこの通勤時間。道端に咲いた花や、風の香りに季節を感じたり、新しいお店を見つけたり、色々な発見ができるのが私の楽しみなんです。毎日リラックスした状態で仕事に望めるのも、バスのおかげかな？

## エコ通勤に関する手続きの流れ

### ●通勤方法の変更なし

すでに自転車・徒歩で通勤申請されている方

提出書類

○**手続き不要**  
(直線距離2km以上であれば、1月分より手当が支給されます。)

乗継通勤手当の支給対象者

○**通勤方法申請書**

### ●通勤方法の変更あり

2輪車・自転車・徒歩  
公共交通機関で通勤する場合

○**エコ通勤届出書**  
○**通勤方法申請書**

提出先

●**環境推進グループ**

2輪車を購入してから通勤する場合

○**エコ通勤届出書**  
○**通勤方法申請書**  
○**ヤマハ発動機 従業員販売申請書**

●**YMMS人事業務室**

レンタルパスソルで通勤する場合

○**エコ通勤届出書**  
○**通勤方法申請書**  
○**レンタル申込書**

●**ワイエス**

2輪免許取得後  
2輪車通勤する場合

○**エコ通勤届出書**  
○**通勤方法申請書**  
○**入校申込書**

●**ヤマハテクニカルセンター**

免許取得後、2輪車購入をお考えの場合は  
ヤマハ発動機従業員販売申請書も提出して下さい。

※エコ通勤届出書は下をご使用下さい。※通勤方法申請書、ヤマハ発動機従業員販売申請書、レンタル申込書、入校申込書はイントラの通達・業連に掲載しています。

お問合せ先 ヤマハ発動機株式会社 環境推進グループ 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

(内線) 2125 TEL: 0538-32-1100 FAX: 0538-37-4258

●**エコ通勤を届出された方には、記念品をご用意しております。先着1000名**

キリトリ ✂

## エコ通勤届出書

ご記入後は社内メール No.G7W  
環境推進グループへ提出して下さい。

フリガナ	フリガナ	フリガナ
氏名	社員番号	所属
フリガナ		
住所		
自宅電話 ( )	職場内線電話	エコ通勤開始予定日 月 日

**エコ通勤へ変更** 現在、エコ通勤の対象となる通勤をされている方は変更の申し込みは必要ありません。

エコ通勤 該当する 箇所に○印	(1) 自動車→バイク	(5) 自動車→バス	(9) バイク→バス
	(2) 自動車→レンタルパスソル	(6) 自動車→電車	(10) バイク→電車
	(3) 自動車→自転車	(7) バイク→自転車	
	(4) 自動車→ウォーキング	(8) バイク→ウォーキング	◇駅乗継通勤 [ 有 ・ 無 ]
希望する 箇所に○印	(1) 安全講習会	(2) 2輪免許取得	(3) リターンライダーズスクール

キリトリ ✂



## (2) エコ通勤制度導入の背景

- ・エコ通勤開始 2004年12月からスタート
- ・導入の背景 1999年からの社員環境家計簿調査結果  
(社員1人当たりの年間CO2排出量全体の25%が通勤時に発生)  
(自動二輪車関連企業として環境に対して何か取り組めないか?という出発点)
- ・社内の複数関係者との合意により実現に至った。(役員・組合等)

ヤマハ発動機(株)の環境委員会は、平成11年より社員に対してエコライフノート(環境家計簿)を5年間実施してきた。この中で、社員1人当りの年間CO2排出量の内訳において、全体の25%が通勤時に発生していることを把握した。

ヤマハ発動機(株)は周辺工場とあわせて磐田地域に勤務する従業員が約1万人おり、そのうち約70%が自動車通勤している。この中で、自動車通勤をしている通勤者の15%が自動車から徒歩や自転車、公共交通機関などに転換すれば、二酸化炭素排出量は現在の通勤時と比較して12%にあたる年1100トン減らせると試算した。そこでヤマハ発動機(株)の自動二輪製造企業という特性を生かして、何か環境に対して取り組めないかという環境委員会の分科会の提案によりエコ通勤制度の導入に至った。

導入にあたっては、役員への理解や通勤手当という金銭的な部分と関係するため組合への理解等、社内の複数の部署との合意により実現に至った。



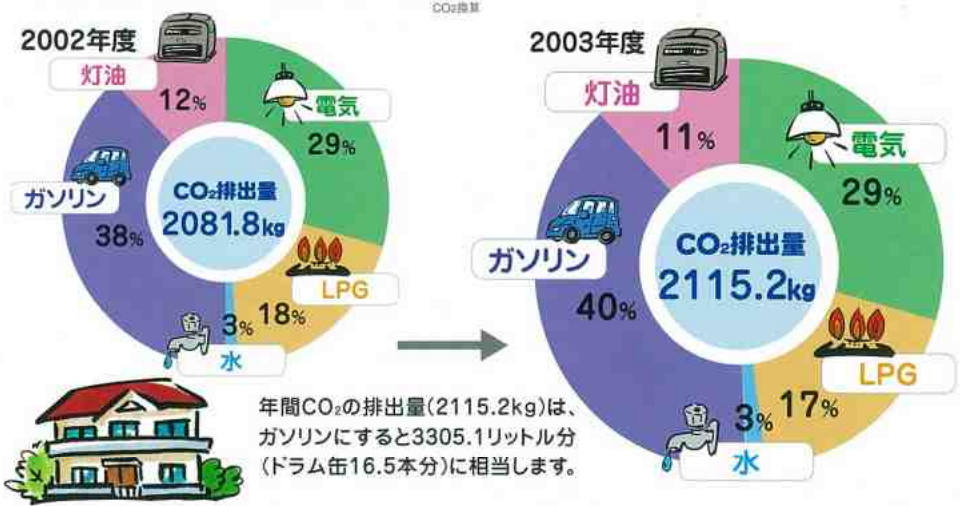


# ご存じですか？ヤマ発グループ家族のエコライフ

## .....2003年度結果.....

このデータは2003年4月～2004年3月の1年間にわたってエコライフノートをつけていただいた410人の皆さまからの報告をもとに作成しました。

### 1世帯(4人)あたりの年間CO<sub>2</sub>排出量



### 冬にピークを迎えるCO<sub>2</sub>排出量

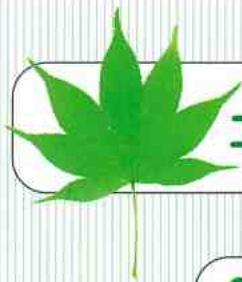


### ヤマ発グループ家族の人数別エネルギー使用量(月平均)



家族の人数/世帯数	電気 (kWh)	LPG (m <sup>3</sup> )	都市ガス (m <sup>3</sup> )	水道 (m <sup>3</sup> )	ガソリン (リットル)	灯油 (リットル)	年間CO <sub>2</sub> 排出量 (kg)	ガソリンに換算すると (リットル)
1人 / 34	1697.3	59.7	—	147.4	1161.5	—	1152.6	1801.0
2人 / 67	3588.1	109.3	462.4	240.4	1083.5	306.0	1570.4	2453.7
3人 / 94	4679.7	225.8	390.5	286.3	1222.2	305.3	2006.6	3135.4
4人 / 124	5092.1	200.0	440.0	340.1	1324.7	350.6	2115.2	3305.1
5人 / 49	5830.8	199.7	588.9	396.7	1819.7	480.8	2618.9	4092.0
6人 / 27	8786.9	201.8	—	440.9	1699.7	423.2	2868.0	4481.2
7人 / 15	6651.1	292.6	—	—	1254.9	—	2624.0	4099.9

※サンプル数5件未満は除外。「年間CO<sub>2</sub>」に都市ガスは含んでいません。



# エコライフへのエコヒント!

電気

## ●待機電力を減らそう

待機電力って知ってますか?  
電気製品を使っていない時にも消費される電力のことで、家庭の電力の約9.4% (約9,800円)も占めています。  
最も多いのは、ビデオデッキ、ガス給湯器、オーディオなどですが、携帯電話も例外ではありません。仮に3日に一度1時間半の充電を行い、普段はアダプターをコンセントから外さなかった場合年間1台あたり約4.3kWh待機電力を消費します。



## ●冷暖房の設定温度は控えめに。

冷房：設定温度を27℃から28℃にした場合  
年間で電気16.33kWhの省エネ→約380円の節約

暖房：設定温度を21℃から20℃にした場合  
年間で電気71.27kWhの省エネ→約1,640円の節約※いずれも使用時間：1日9時間

ガス

## ●シャワーはお湯を流したままにしない。

45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合  
年間でガス9.24m<sup>3</sup>の省エネ→約1,300円の節約  
(年間で水道4.38m<sup>3</sup>の省エネ→約810円の節約)  
家族4人が全員協力すれば→約8,480円の節約



## ●食器を洗うときは低温に設定しましょう。

65Lの水道水(水温20℃)を使い、湯沸し器の設定温度を40℃から38℃にし、2回/日手洗いした場合。  
年間でガス13.56m<sup>3</sup>の省エネ→約1,910円の節約※使用期間：冷房期間を除く<253日

水

## ●お風呂の残り湯を洗濯などに再利用しましょう。

1回50リットルとして年間18,250リットル節水→約2,200円の節約※静岡市の水道料金より算出

ガソリン

## ●急発進、急加速はやめましょう。

10km走行毎に急発進・急加速をした場合としなかった場合との比較して年間でガソリン28.00Lの省エネ→約2,940円の節約

## ●タイヤの空気圧を適正にしましょう。

タイヤの空気圧を適正に保って走行した場合と、しなかった場合と比較して年間でガソリン15.00Lの省エネ→約1,580円の節約



灯油

## ●石油ファンヒーターの設定温度は20℃を目安にしましょう。

外気温7℃の時、暖房の設定温度を21℃から20℃にした場合、年間で石油8.88Lの省エネ→約400円の節約※使用時間：1日9時間

## ●石油ファンヒーターの不要な運転はやめましょう。

1日1時間運転を短縮した場合(設定温度：20℃)  
年間で石油15.71Lの省エネ→約710円の節約  
(年間で電気2.16kWhの省エネ→約50円の節約)※暖房期間：5.5ヶ月で計算





## 環境活動の輪がひろがっています。

### 『地球にいいこと』始めてみませんか？

ひとり年に1回は社会の環境保全活動に参加しよう！  
**(4万人のV作戦)**

4万人：ヤマハ発動機グループ社員数 V：ボランティア



ヤマハ発動機グループでは、「地域との共生」を図るためにコミュニケーションを通じて地域から信頼される企業市民になろうと考えています。

ヤマハグループ社員の自然環境保護活動を我がグループ社員が活躍している世界規模に拡大していきます。

#### ●グループ自然環境保護活動実施要項

ヤマハ発動機グループは、社員一人ひとりの自然環境保全活動を積極的にサポートしてまいります。

	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
<b>事務局</b>	活動情報提供 (イントラ、インターネット)	(●サンクチュアリジャパン ●財団法人オイスカ) (●ネイチャークリーン ●海環おしほ協会)	※これらの活動団体の情報提供もいたします。	
<b>参加者</b>	計画/実施/報告			
<b>事務局</b>	活動実績収集	記念品発行(「海環おしほ」のしおり)	活動報告 (●イントラ ●インターネット ●社報) (●CSR活動報告書 ●職場度)	

※「海環おしほ」のしおり=海環(CO<sub>2</sub>削減の海のシンボル) 裏：ヤマハ環境活動・商品紹介



第3・第5サイト/工場周辺県道花壇の草取りとゴミ拾い



第6サイト/工場周辺のゴミ拾いと草刈りを実施



ビーチクリーン作戦&子ガメ放流会に過去最高の1200人が参加



2004年11月、インドネシアの植林活動に参加

### 2005年度自然活動カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
<b>ヤマハ発動機</b>	<b>環境月間</b>											
<b>各部門・各社・個人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お問い合わせ先           <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境担当 0525-3411053 444-5529</li> <li>●CSR担当 0525-3411053 444-0339</li> <li>●ネイチャークリーン 053-441-5523</li> <li>●海環おしほ協会 0525-72-1236</li> </ul> </li> <li>※各社が個人社員や協力関係にある法人・団体から自然環境保護活動を依頼してきます。活動に賛同の方はお問い合わせください。</li> </ul>											
				★豊岡村植林4/3	★各サイト環境月間クリーン作戦	★各サイト環境月間クリーン作戦	★各サイト環境月間クリーン作戦	★ラグビー・サッカースクール生徒ビーチクリーン作戦	★海外植林			
				★ウエルカムクリーン作戦(中田島)	★環境展 (5/11~6/25CPC)	★天竜川水系 環境ピクニック(クリーン活動)	★天竜川水系健康診断(天竜川河口)	★ビーチクリーン作戦&子ガメ放流会 (竜洋浜・中田島)	★天竜川水系健康診断(天竜川河口)			

※上記白スペースは、皆様の環境保護活動の参加予定書き込み欄です。

## マイカー通勤からエコ通勤へ

### エコ通勤を始めてみませんか？



ヤマハ発動機グループは通勤時のCO<sub>2</sub>削減を目的とした「エコ通勤」をご提案しています。CO<sub>2</sub>の削減は、地球温暖化防止に貢献できる社会貢献のひとつです。さあ、始めてみませんか「エコ通勤」。いつもと違う通勤路からは、新しい風でなく、自分にも新しい発見があるかもしれません。

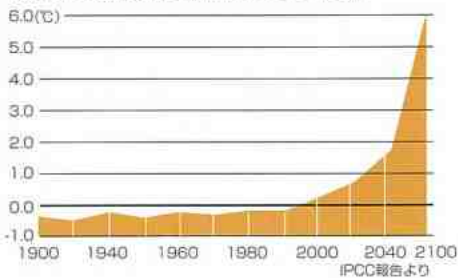
2輪車を購入すると	2輪車15%、パッソル・バス20%キャッシュバック (2004年12月~2005年5月)
パッソルをレンタル	月々3,150円で利用できる
安全なライディングへのサポート	安全講習会、リターンライダースクールの開催
自転車・徒歩通勤	1,000円/月の徒歩・自転車通勤手当が受けられる (2km以上)
パーク&ライドを利用すると	2,000円/月の乗り継ぎ通勤手当を支給(2km以上)
通勤バスを増便	本社~JR磐田駅間等でゆったり通勤

# 世界中のみんなが、 地球を守るため環境への 取り組みを始めました。

京都議定書ってご存じですか？

京都議定書は、世界130以上の国々が、一緒になって地球温暖化対策を進めていくために、1997年12月に京都において国際的な枠組みを採択し、今年2月16日に発効された国際条約のことです。

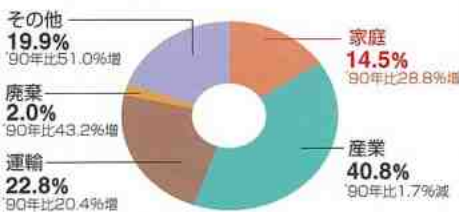
■地球の平均気温の変化と予測（1990年に比べた変化）



京都議定書では何が決められたのですか？

二酸化炭素など温暖化効果ガスを削減することが決定され、日本の目標は「-6%」となっています。しかしこれは、1990年の排出量の水準値で、その後増え続けて2001年度の日本の総排出量は1990年と比較して8.2%も増加しています。

■二酸化炭素の排出源



環境省：「平成16年度環境白書」より

## ヤマハ発動機 エコトピックス

「エコ通勤」活動が  
社会から大きな注目を浴びました

昨年12月にスタートした「エコ通勤」の取り組みが、新聞を始めとするさまざまなメディアで好意的に報道されました。企業・自治体のCO<sub>2</sub>削減活動の一環として今後の活動に大きな注目を集めています。

掲載日	媒体名	見出し
04/12/2	中日新聞	エコ通勤ニコニコ ヤマハ発動機などに手当新設
04/12/2	日本経済新聞	徒歩通勤に月1000円支給 徒歩・自転車利用を促進 ヤマハ発動機
04/12/2	静岡新聞	エコ通勤でCO <sub>2</sub> 削減 二輪車購入など優遇 ヤマハ発
04/12/6	静岡新聞・社説	着実に広げて生きたい エコ通勤 ヤマハ発動機
04/12/15	日経産業新聞・環境面(談話室)	エコ通勤渋滞緩和にも貢献
05/1/19	中日新聞	1人の思い連鎖呼ぶ ヤマハ発動機のエコ通勤
05/1/27	静岡新聞・夕刊	マイカーやめて環境に貢献 ヤマハ発動機エコ通勤 国内外から反響
05/2/10	中日新聞	本気でエコ通勤 エコ通勤(リターンライダーズスクール)
05/2/15号	厚生福祉(時事通信社発行雑誌)	エコ通勤で二酸化炭素削減へ
05/3/9	日本経済新聞・夕刊	車通勤控えCO <sub>2</sub> 削減 企業自治体で拡大 国交省後押し費用助成や認証制度

他に、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、東北放送ラジオ(TBC)などでも紹介されました。

## 愛・地球博会場内を走る ヤマハ発動機の「自転車タクシー」

ヤマハ発動機は2004年12月16日、「2005年日本国際博覧会」(愛・地球博、会期:2005年3月25日～9月25日)の会場内移動ツールとして利用される「自転車タクシー」を発表しました。電動アシスト機構を持った“人力車”で、当社が財団法人自転車産業振興協会からの依頼を受けて製作しました。



# エコライフノートの使い方

- ステップ1** 家庭で使ったエネルギーの量を別紙「わが家のエネルギーチェック!」シートに記入して、どれくらい二酸化炭素を出しているのか。
- ステップ2** またどれくらいエネルギーにお金を払っているのが調べてみましょう。昨年の数値がわかれば、比べてみるのもいいですね。
- ステップ3** エコライフノート記入結果を提出してください。(強制ではありません) 提出戴いた方全員に粗品を、さらに前年に引き続き提出して下さった方には、「継続賞」を進呈いたします。(詳しくは社報2005年4月号をご覧ください。) ※関係会社の方は、主管部署の指示に従ってください。

## Let's Try!

まずは1項目でも、できるところからやっていきましょう。

### 記入のしかた

- ①電気・ガスは毎月、水道は2ヶ月に一度くる「ご使用量のお知らせ」を見て、「使用量」や「料金」を記入します。ガソリンや灯油は、購入時のレシートなどを見て記入してください。  
※ガスや電気の「ご利用期間」は月をまたいでいることがありますので、極んだら「そのお知らせが来た月につける」と自分で決めておくといでしょう。
- ②CO<sub>2</sub>排出量を計算してください。  
計算式:エネルギー使用量×CO<sub>2</sub>係数(別紙「わが家のエネルギーチェック!」表の下に記載されています)  
例)電気の場合→472kWh×0.38=179.36kg←これがCO<sub>2</sub>の量
- ③1年間おわたたら、CO<sub>2</sub>の合計を、ガソリンに換算してみましょう。

ご使用量	472kWh
電気料金(電気)	11,164円
料金	8108
送料	7636
電気料金	472

当月中使用量	25m <sup>3</sup>
当月料金	4,884円
料金	2376
送料	2351

今月の検針	1,188
今月の検針	1,128
今月の検針	60.0m <sup>3</sup>
基本料金(円)	9,082 (482)
下水道料(円)	6,804 (224)
請求決定金額	15,886円

→水道使用量は  
検針のあった月に  
まとめて  
記入してください。

昨年4月実績 使用量 495kWh  
契約容量 30A 使用(10月30日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気													
ガス													
水道													
灯油													
ガソリン													
CO <sub>2</sub>													
月合計													

※エネルギー別のCO<sub>2</sub>算出係数でCO<sub>2</sub>の排出量を割り出してください。  
※実施にあたってのアイデア、工夫などを記入してください。

2005年度

# わが家のエネルギーチェック!



今年度から事業年度にあわせて、月間表示は1月～12月となります。したがって、1月～3月は過去のご記入ください。(2004年度帳をご利用の方は、表シートに転記してください)

1つでもいいので毎月つけてみましょう。詳しくは別パンフレットの裏表紙を見てね  
 経年変動された場合は、各項目毎に毎スペースに前年度の数値を記入の上、今年度との比較をしてみましょう。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
電気	使用量	04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
ガス	使用量	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
水道	使用量	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
ガソリン	使用量	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
灯油	使用量	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
月合計	料金	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											
	CO <sub>2</sub>	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計	04年 1月 04年 2月 04年 3月 04年 4月 04年 5月 04年 6月 04年 7月 04年 8月 04年 9月 04年 10月 04年 11月 04年 12月 04年 合計											

CO<sub>2</sub>係数 電気: kWh×0.38kg LPG: m<sup>3</sup>×6.6kg 都市ガス: m<sup>3</sup>×1.98kg 水: m<sup>3</sup>×0.58kg ガソリン: L×2.36kg 灯油: L×2.58kg

名前: _____ 所属: _____ 会社: _____ ご家族人数: _____人	使ったエネルギーの量を記入してください。
--	----------------------

ガソリンに換算してみよう  
 CO<sub>2</sub>(kg)÷2.36= リットル

ドラム缶にすると  
 リットル÷200= 本分

1年間の記入したCO<sub>2</sub>もご記入ください。ガソリンに換算し、ドラム缶に換算して見てください。(単位は200リットル)

### (3) エコ通勤制度の実態

エコ通勤参加者	150人	エコ通勤方法	自転車・パス・パッソル(26.7%) 自動二輪車(24.2%)
エコ通勤成功要因	二輪製造業としての背景 職員へのインセンティブを明示		

ヤマハ発動機(株)のエコ通勤参加者は、現在約150人ほどである。内訳としては自転車、パス、パッソル、自動二輪車によるエコ通勤が多い。しかし実際には、エコ通勤補助制度が適用されないISO14001範囲のエコ通勤者(軽自動車やハイブリッド車による制度対象外のエコ通勤者)も存在する。このISO14001範囲でのエコ通勤者は全従業員の60%にもものぼる。また、エコ通勤としての正式な届出を行わず、自主的に以前からエコ通勤を実践している方も存在しており、これらを含めると、より多くの方がエコ通勤しているとヤマハ発動機(株)側は考えている。

ヤマハ発動機(株)がエコ通勤成功要因としてあげているのは、ヤマハ発動機(株)が二輪製造業としての背景を持っていたこと、そして、職員への制度利用によるメリット、インセンティブを明示したこと。最後に、職員に対して強制するのではなく、自発的な行動にまかせたことを成功要因としてあげている。

### (4) ヒアリング内容

(実施日:平成17年12月19日 場所:ヤマハ発動機(株)本社)

#### Q1. エコ通勤制度の導入の背景は?

平成11年より社員に対するエコライフノート(環境家計簿)を5年間実施してきた中で、社員1人当たりの年間CO2排出量の内訳において、全体の25%が通勤時発生することが分かったため、エコ通勤制度を導入した。

#### Q2. ヤマハ発動機(株)の企業理念とは整合しますか?

エコ通勤は、ヤマハ発動機(株)の感動創造企業としてのチャレンジである。お客様に喜んでもらえること、感動を与えることの中で、環境のために自動車利用について見つめ直す中で、二輪アシスト製造業だからこそ、できることという部分で、ヤマハ発動機(株)の企業理念と整合していると考えます。

#### Q3. 制度は、ヤマハ発動機(株)独自のアイデアですか?参考となる先行企業などはありましたか?

参考にした企業はなく、我々独自のアイデアである。二輪製造企業として、今回のエコ通勤を実行に移す場合においても、他社に比べて有利なノウハウがあった。



**Q4. エコ通勤制度の導入準備の体制は？（プロジェクト体制、準備期間等）**  
プロジェクト検討開始～運用開始までの期間・プロジェクト室設置の決定を誰がいつ行ったか・プロジェクト室の設置部署、人数、他部署との交渉は必要でしたか？

環境委員会の分科会として、20名程度の各職場代表の委員によって構成されるエコライフ分科会が平成11年より活動していた。このエコライフ分科会からエコライフノートの提案、そして平成16年12月からのエコ通勤への導入に結びついた。他部署との交渉については、エコライフ分科会での提案を環境委員会に上げ、役員の実地視察を得るという形で、エコ通勤の導入のための交渉が必要であった。また、通勤手当などの金銭的な部分がかかわるため、人事部の実地視察、また組合の実地視察を得る必要性があった。

**Q5. エコ通勤制度導入の成功要因は？（トップマネジメント、リーダーシップの存在、従業員啓蒙プログラム、各種インセンティブ等）**

二輪製造企業として、エコ通勤を導入しやすい背景があったこと。気持ちだけでなく、職員に対するインセンティブなどのメリットを明確にしたこと。また継続性についても、職員がエコ通勤を実施しているか等の強制的なチェックをかけることはせずに、職員の自発的な行動にまかせることなどが成功している要因と考えている。

**Q6. 従業員数に占める自動車通勤者数は？**

ヤマハ発動機(株)と関連会社社員約10,000人のうち、約73%が自動車通勤している。

**Q7. 従業員数に占めるバイク・原付通勤者数は？**

オートバイだけで通勤申請している従業員は約8%（約800人）。自動車と併用している従業員もいるため、実際にはさらに多いとみられる。

**Q8. 従業員駐車場台数は？**

9工場（各工場の管轄）で40箇所分散、駐車場台数は合計4,262台を確保しており、現在足りている状況にある。駐車場用地については借地である。自動車駐車場については指定箇所が定められており、月の利用料は500円である。二輪駐輪場については指定位置がなく、会社から近い位置に確保されており、料金については無料である。

**Q9. エコ通勤の参加者の開始当初から現在までの状況は？**

既存の自動車通勤からエコ通勤に変更した人が150人。従来からエコ通勤を自主的に続けている方はさらに多いと予想される。

**Q10. エコ通勤進捗状況の把握方法は？**

強制的に続けているかなどのチェックはしていない。ノートPCや紙などのアンケートにより進捗状況を自主的に答えていただいている。

**Q11. エコ通勤参加率の目標は？**

今後3年間でISO14001の範囲での取り組みを、現在の社員の60%の参加率から100%の参加率を目標としたい。

**Q12. エコ通勤への参加要請の方法は？**

参加記念品などの対象となる正式参加は、パンフレットについているエコ通勤届出書の提出によるが、通勤方法申請書はイントラ、または届出書で提出による。この通勤方法変更届出書を提出しなければ、通勤費用補助の対象とはならない。手続きはいたって簡単なものであり、この手続きの複雑さを理由に断念する方はいないと思う。

**Q13. エコ通勤のメニューの概要は？**

(P.47~P.48 パンフレット参照)

- 1) 自動二輪購入補助
- 2) レンタルパッソル
- 3) ライディング講習会
- 4) 徒歩・自転車手当至急
- 5) 乗継通勤手当支給
- 6) 通勤バス増便

**Q14. エコ通勤の内訳は(現状)？**

徒歩、自転車、バス、パッソル	26.7%
公共交通、乗り継ぎ、通勤バス	8.3%
自動二輪	24.2%
ハイブリッド四輪(プリウスなど)	0.8%
軽自動車	15.9%
マイカー以外の通勤月1回以上	24.1%

(ISO14001範囲に拡大した、ハイブリッド車、軽自動車を含めたエコ通勤)

**Q15. エコ通勤の目標となる自動車通勤台数の減少は？**

エコ通勤を実施する上では、天候によっては自動車と使いわけている方がおり、駐車場台数の削減などに大きくは影響していない。このため自動車通勤台数の統計上の減少ということで目標にしている数値はない。

**Q16. 二輪車等の通勤台数の増加は？**

二輪については2~3倍、徒歩についても2~3倍増えた状況にある。駐輪場については増設することにより対応した。

**Q17. 企業としてのメリットは？**

自社製品のアピールとなる。企業として、環境に対する姿勢を外に向けて示すことができる。

**Q18． 企業としてのデメリットは？**

毎月、進捗状況についてのアンケートの配信を ISO14001 のプログラムに導入したために、結果報告を公表する義務を負う。この中で、ISO14001 において設定した通勤プログラム目標に到達するには、まだまだ時間がかかりそうである。

**Q19． エコ通勤参加者からの要望は？**

個別に声を聞く意見箱などは設置してない。職員の間での要望について、職員から伝わってくる話をワーキンググループにあげることは行っている。

**Q20． 今後の課題は？**

参加者の伸び悩み。今後 3 年間で、ISO14001 範囲に拡大した通勤プログラムの中で、現在の 60% から 100% まで拡大したいと考えている。

**Q21． 今後の展開方向は？**

更に、従業員に対しエコ通勤の啓発活動を行うことにより定着を図りたい。

**Q22． メニューの見直しは？**

随時行っていく予定はある。

**Q23． 行政への期待は？（公共バスの増便、企業バス運用費補填、P&R 用駐車場設置、MM 情報の提供など）**

磐田市の道路に、二輪車専用レーンを作っただけないだろうか。（サイクルロード、観光的なものは磐田市に現在ある。しかし通勤に使えるものは無い。）

**Q24． 後続の企業に対するアドバイスは？（トップ判断、社内合意等）**

活動する人のメリットを感じさせること。環境のために無理をせず、強制はしない。一歩でも良いと思う。昨年よりも今年という実施提案が、会社を動かすところにつながると思う。

**追加質問 1 企業として TFP（トラベル・フィードバック・プログラム）に興味があるか？**

興味ある人には可能であるかとは思いますが、日記をつけるという行為は難しく、社員に負担を与える気がする。人事異動も多く、転勤者に対しても、情報提供を行うことは難しいと考える。